

02

GARAGE LIFE EXAMPLE

海の向こうのリノベーションガレージは、
新旧が融合した渋いガレージ。

台湾 ロイス邸

2300万人が暮らす海の向、台湾。観光地としても有名であるが、
限られた土地のなかで GarageLife を楽しんでいるのが、
奥さまが建築家でもあるロイスさんの邸宅である。

Photo/ 陳健雄 Text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)
Special Thanks to Safetylife phone/052-221-8684 <http://www.safety-l.com>



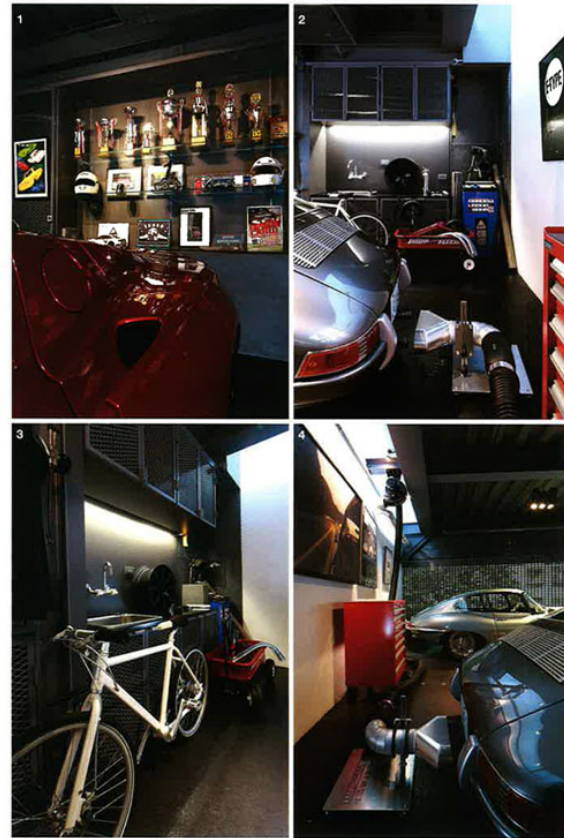
1966年式ボルシェと
1967年式ジャガーE
タイプというクラシック
カーを所有するロイス
さん。台湾ではクラシッ
クカーを所有するオー
ナーは少ない。



クラシックカーとは対極なのが、最新式のEVカー・2011年式テスラも所有。200Vの電源はあらかじめ設置され充電できるようにしている。台湾では納車1号車で、新感覚のドライブを楽しんでいる。



1 / 今までのレースの戦績を物語るかのようにミニやロードスターで出場したジムカーナレースで獲得したトロフィーが収まる。
2 / シックな色合いに統一、グレーのデスクとシェルフが用いられている。格子状のシェルフは収納されているのが確認できて便利という。3 / ロードバイクもロイスさんの趣味の一つ。4 / 日本で販売している排気ガス排出システム「EG WAY OUT」の導入も目的のひとつ。日本から取り寄せ、輸入し台湾設置1号となった。



02

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF ROYCE

60年前に住居をリノベーション。ガレージのテーマはグレーを使ったギャラリースペース。

台湾の州都、台北の高級住宅街のなかをクルマで走ること10分。小高い山の上に建てられているのが、ロイスさんが2004年に購入した築60年以上も経過した200坪の邸宅だ。以前は、市内のマンションで暮らし、駐車場を確保していたロイスさんにとってはガレージを所有するのが夢だったという。なぜなら日本の雑誌GarageLifeを10年前から愛読する彼にとっては待ちかねていた空間だからだ。

アメリカ生まれのロイスさん。大学はアメリカのカリフォルニアでデザインを専攻。卒業後、帰国して台北にてビジネスを展開。ガレージのある生活はごく

自然の流れで、当初から所有していた1992年式ミニは結婚をする前の'02年10月にレストアをして、12月に奥さまのグレースさんの誕生日にプレゼントするほどのクルマ好き。度々'98年式ロードスター・エリーゼでデートを重ねるなど建築家の奥さまをクルマの世界に呼び寄せた。2004年、自宅を購入して奥さまの設計によりリノベーションが施される。もちろん、将来はガレージ付きの自宅になるようにだ。

まず、最初に奥さまがプランニングしたのは築60年になる自宅の躯体を残しながらも、空間を大きくすることで視野を広げること。鉄骨のH鋼を使いなが

ら、敷地面積ぎりぎりまで住まいを広げ、ファザードをブラックの木で覆うことでシンプルなデザインに変更。スペースを広げる場所では採光を考えながらも、高さを意識することで広い空間を感じることができるよう空間を広げている。外壁となっていた石の素材はホワイトに塗ることで明るく、そして室内から素材を楽しめるように工夫している。ウォールナットの床材、扉、そして奥さまがデザインした家具を入れることで落ち着いた近代的な居住空間へと生まれかわった。もちろん各部屋にはテーマが与えられ、そのシーンによって使いやすくなっているのが最大の特徴。

その後、ガレージも奥さまの手によってリノベーション。男の空間というテーマが与えられた。2年前の2012年に完成、ご主人ロイスさんの好きな色・グレーがふんだんに盛り込まれガレージシャッター、エボキシで塗られた床、壁面や戸棚などはすべて同色で統一。エアコンまで目隠しにするなど、細部のディテールにこだわった。そして最近購入したボルシェのエンジン始動時に悩んでいた白煙を解消するために日本で発売し好評を博しているEG Way Outを台湾で初めて導入している。ただし壁面には鉄筋がなかったため、H鋼の梁を利用してモーターを設置した。



大きなリビングは、奥さまの手によってプランニング。シンプルなホワイトの壁面と木製の床、家具が落ち着き時間の経過を忘れてしまう。



02 PLANNING DATA & MATERIALS

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF ROYCE

開放感あふれる住居スペースは、
木と石を使ったシンプルモダン。

現在では6台のクルマが入るガレージには目的別に乗り分ける異なるタイプが揃っている。クラシックコーナーにはレストアから仕上がったばかりの'66年式ボルシェと'67年式ジャガー・Eタイプ。そして昔、レース活動をして現在は奥さまのクルマ、'92年式ミニと小気味いいドライブを約束してくれる'98年式ロータス・エリーゼ。そして日常の足でもあるアウ

ディとなんと最新式の'11年式テスラといったラインナップ。仕事が忙しいロイスさんにとってはモーニングクルーズや、ラリー、サーキット走行に出場するのが最大の気分転換。建築家としても世界的な有名なグレースさんの手によってリノベーションされたガレージは、まるでギャラリーのような世界を形成していた。

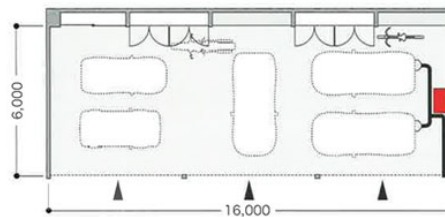
リビングと併設するシアタースペースは木製の特別オーダーしたソファが入る。デザインを意識しながらのリノベーションが施された。



大きな尿の向こうが奥さまの書斎、仕事場だ。2歳半になるロキシーちゃんと、愛犬のイングリッシュブルドッグと暮らす。



上ノガレージ部に設置されたエアコンは、あえてテーマのグレーにするために格子状のカバーがかけられた。下ノPanasonic製のスポットライトによりクルマの見せ方の工夫をしている。スポットライトと蛍光灯を壁面に入れて使い分けている。



トイレのスペースは天井から明かりを取り込み、明るいイメージに。壁面は石づくりと木製の組み合わせ。



P PLANNING DATA
所在地●台湾・台北市
家族構成●3人
敷地面積●200坪
延床面積●100坪
ガレージ面積●50㎡
設計●キー事務所 (xrange)
愛車●1966年式ボルシェ
1967年式ジャガー・Eタイプ
2011年式テスラ
1992年式ミニ
1998年式ロータス・エリーゼ

O OWNER'S CHECK
■一番気に入っているところは？
クラシックコーナーに収まる2台の旧車。ガレージのカラーとボディカラーのマッチングも悪くない。
■ちょっと失敗したところは？
もっとガレージが広ければクルマを増やすことができた。
■次の事はなんですか？
じつは1967年式シトロエンDSも購入してしまいました。あと1台、どのように保管しようか悩んでいます。
■読者へのアドバイス！
EGWAY OUTを導入したことで奥の問題を解決しました。おすすめです。

ショールームではなくギャラリーのようなガレージにしたかったのが主人の好きなグレーの配色を意識して設計しました。クラシックコーナー、ドライビングコーナーとテーマを定めることもでき、うまくデザインも統一できたことがよかったです。
●Grace cheung
XRange Architecture
4/F #53 Bo Ai Road,
Taipei 100, Taiwan
Phone: 886.2.2383.2003
www.xrange.net



上ノ壁面に収納を兼ねさせ、格子状にするなどデザイン性を重視。格子状なのでサインプレートなどでディスプレイしやすいとオーナー邸。下ノハンダの名画・シティに種めると販売していたモトコンボも今はコレクターズアイテム。台湾出身のRoughCraftsさんによりカスタマイズ。



ガレージシャッターもグレーに統一。写真は自然光が入る格子状の状態で、開閉して外光を遮断することもできる電動シャッター。





07 愛車を守るための ビルトインガレージ

東京都 A邸

東京都A邸。スーパーカーと国産スポーツカーが入るガレージ。
対極の組み合わせと思いきや、コンセプトは走ること。
Aさんは愛車を守る、維持するためのガレージを要望し、
新築とともにビルトインガレージを手に入れた。

photo/Hiroiyuki-KONDO(近藤浩之) text/Jun-ISHIHARA(石原 淳)
special Thanks to Safetylife phone/052-221-8684 <http://www.safety-l.com/>



2台が入るビルトインガ
レージ。並列でクルマが
並べられるのでクルマの
出し入れが簡単。ちなみ
にデイルーキーとして
カーポートに2台所有。



ガレージに強力、物を置かないように工夫して広くガレージを使用。右ハンドル、左ハンドルのクルマを停めるためセンターから乗り降りする。

07 念願のガレージの横に書斎を設計。 オーダーメイドのビルトインガレージ。

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M.A.

東京都の郊外に建てられたビルトインガレージ。Aさんは、会社を経営するビジネスマン。スポーツカーが好きでGT-Rを乗り継いできた過去を持つ。ただし、盗難という被害にあってしまい、いつかはガレージを建てて愛車を守りたいと考えていた。その矢先、2002年式ニッサンスカイラインの500台限定車、GT-R V スペックIIニルを新車で予約。同時に別棟の2台入るガレージを建てて、このクルマの納車はガレージにと考えていた。予約ですべて売れてしまったという名前はガレージで保管をされていたが、Aさんは同居することになり、新たに2区画を購入し2013年新居を建てることになった。そのときに紹介してもらったのが子どもの友人が新築で建てた「たくみ工房」による注文住宅だった。

「たくみ工房」は住む方と造り手が一緒に家を造り上げていくことをコンセプトに注文住宅を受け、年間の建てる棟数を制限し、満足度の高い邸宅を提供すると評判が高いメーカー。Aさんは数件、友人のお宅や施主の家のオープンハウスに向いて建てた方の意見や感想を聞き、大手住宅メーカーよりも自分に合っていると判断。しかも2台が収納できるビルトインガレージが欲しかったAさんにとっては最適なメーカーと考えて相談したところ、担当者に親身に相談に乗ってもらったことや、いっしょになって雑誌GarageLifeを研究し、ガレージの寸法やシャッターなどを決めたところがよかったと語る。「計画をじっくりと話し合い、お互いに信頼し、ワクワクしていただけるような家を提案してもらいました」とは施

主のAさん。いい工務店と出会ったと自負している。また、外断熱の高気密住宅を建てることもAさんが気に入った理由だ。

そしてもうひとつ、本屋さんで巡り合ったのが雑誌「年収200万円台からでも買えるフェラーリ購入術」。実際にはクルマが購入できても維持ができないと考えていたが、この雑誌に出会ってから考え方が変わり、すぐにフェラーリ専門店「コーナーストーンズ」に相談。奥さまを説得してフェラーリF355を購入し、新居が竣工後の12月、ガレージに格納するという計画は予定通り。もちろんフェラーリの購入を将来考えてのことだったため、雑誌を購入後すぐに「たくみ工房」の担当者に排気ガス排出システムの導入をAさんから提案。施工時に配管を「セーフティ



クルマを格納する際にも導入した排気ガス排出システム「EG WAYOUT」。標準タイプのものにモーターをオーダーでペイント。ロゴを入れた。

07

GARAGE LIFE EXAMPLE
A RESIDENCE OF M.A.

PLANNING DATA & MATERIALS

外断熱の高気密住宅に、
排気ガスシステムは必需品。

母屋のスペースに合わせた書斎は
ガレージに対して1mくらい高い。その
ため、ガレージの天井が高く開放感
があるガレージスペースとなった。



面壁で設置した住居と同じ高さにした書斎。書斎には好きな本や、
愛車のダイキャストモデルが収納できるスペースを確保した。



ガレージのシャッターは大幅口6m取れる「文化シャッター」製
前様。電動で開閉が早いのが気に入る。

「フ」に相談しながら工事は進んだ。今回、設置した
EG WayOut はモーターをオーダーによりF355の
純正色にペイント。ロゴを入れるなど特別オーダーし
て、クルマとのマッチングを考えたそうだ。

その結果、理想としていた排気ガス排出システム
を導入したビルトインガレージが完成。要望した書斎
も手に入れ、仕事から帰るとコーヒーを飲みながら書
斎でくつろいだり、クルマを磨いたり楽しむことがで
きるようになったとAさん。今までは別棟だったので
気を遣ったが、今では母屋とダイレクトなで気軽に
なったという。そしてスカイラインGT-R、フェラーリを
目的によって乗り分けてドライブをしているのだ。ア
クアラインができたため、気軽にドライブが楽しめる
ようになったという。じつはAさん、昔はGT-Rをド
ライヴして首都高速を走っていた過去があり、走るこ
とが好きで仲間がたくさんいる。しかし、最近ではス
ピードよりもドライブが楽しめになり、フェラーリをド
ライヴするときはハーレーの友人と過ごすなど、クルマによ
り楽しみ方が千差万別という。しかし、両方に通ずる
のは、このクルマたちにしか味わうことができない加
速だったり、スポーツカーらしいドライブフィーリングと
語る。オーダーメイドによりガレージを実現したAさん
の次なる夢は、次なるクルマ……を手に入れること
だそうだ。



上/フェラーリの排気ガスはEG WayOutで強制的に屋外に。スカイラ
インの排気ガスは工費は、現在はダンボールで汚れを防止。
下/ジャッキはクルマのタイヤを履き替えるための必需品。さすが走ることを
目的にしている2台だけにセッティングはシビア。



左/想定外だったのはライ
トの設置。母屋はライトの数を
増やすなどして光量を増
やしたいと考えている。
右/排気ガスの排出方向
を考慮してEG WayOutの
壁突を設置。まわりの住
宅からクレームがないよう
に配慮された。

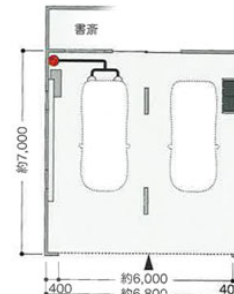


左/ロッソコ
ルサのボディカラー
に合わせてペイン
トしたモーター部
分。ロゴとエンブ
レムのマークが
オーダーで入れ
られた。右/
ガレージのデザ
イン時にオーダー
した棚は、ダイカ
ストを展示した
看板をディスプレイ
したりと計画ど
おり。



P PLANNING DATA
施主 ● Aさん
家族 ● 3人
竣工 ● 2013年6月
ガレージ面積 ● 約42㎡
愛車 ● 2002年式 ニッサン・スカイラインGT-R
1998年式 フェラーリF355 他2台
設計 ● たくみ工房

O OWNER'S CHECK
■一番気にしているところは？
書斎から見おろしたガレージに収
まる愛車の姿
■ちょっと失敗したところは？
照明がやや暗かったこと。将来は改善予定。
■次の夢はなんですか？
フェラーリのドライブに憧れたら、フェラーリ
458も手に入れたい
■読者のアドバイスを
いろいろガレージを雑誌で研究して、いい
ところを取り入れよう。



人生が変わったという衝撃だった雑誌「年収200万
円からのフェラーリ購入計画」(ネコ・パブリッシング
刊)。この本を買わなかったら、フェラーリの購入は躊躇
していたそうだ。



C COMMENT FROM A BUILDER
株式会社セーフティライフ
長谷川 睦さん

A様邸は、モーターの配置・アタッチメントスペース
の確保、近隣に対する配慮の為の煙突製作
など、設計の段階から打合せさせて頂く事が
出来た為、とてもスムーズに導入する事が出来
ました。余裕の天井高とアタッチメントを設置し
てもまだ十分な奥行きのあるガレージ空間が
確保でき、また、納車されるF355に合わせて
カスタムオーダーいただいたロッソコルサカラー
のモーターにはサービスでフェラーリのロゴ入れを
させて頂きました。

愛知県名古屋市中区
丸の内一丁目2番11号 LOMASビル
phone/052-221-8684
http://www.safety-l.com/